

車いす 各部位名称



車いすの種類【普通型】



駆動輪が後方でキャスターが前方にある、最も一般的な四輪の車椅子です。**立位や座位**

が保持できる人、車椅子への移乗が安易に行うことができる人などにおすすめです。

自宅はもちろんのこと、病院や公共施設、介護施設などの幅広い用途で使用できま

す。

【モジュラー（モジュール）型】



介助式



自走用

利用者の身体に合わせて、種々の調節が可能な機能を有している車椅子です。主に、背もたれの角度や張り具合、肘掛けや介助用ハンドルの高さ、座面の高さや駆動輪軸の位置などを調節できます。**立位や座位が保持しにくく、車椅子へ乗車した際に姿勢が崩れてしまう人におすすめです。**

【ティルト (チルト) ・リクライニングタイプ】



介助用



自走用

座位を保持するために、利用者の身体や障害の特性に応じて、さまざまな部分の調節が可能な車椅子です。ティルトとは、背もたれとシートの角度を保ったままシートの角度を調節する機能、リクライニングとは、背もたれの角度を調節する機能をいいます。

体圧分散を適切に行い褥瘡を予防できるため、**車椅子を長時間利用者や、自分で姿勢を変えることができない人などにおすすめ**です。また、アームレストやフットレストの着脱や高さ、バックレストの張りや高さ、ヘッドレストの位置なども調節できます。